

2 期目 マニフェストの進捗・取組状況の公表について

私は、知事就任以来、県民の声がしっかりと反映される県政にしたい、県民が主役の、県民の目線に立った行政を実現したい、各市町村や関係団体の皆様などの意見を聞きながら連携を進めていきたいということをお願いし、「県民の皆様と一緒に鹿児島県の今と未来をつくる」ということを基本として、「誠実に」、「着実に」県政の推進に全力を挙げて取り組んでまいりました。

2 期目につきましても、同様の姿勢で、昨年6月に公表した14分野131項目のマニフェストに掲げた各般の施策を積極的に推進してまいりました。

現在、我が国は、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、不安定な海外情勢による物価の高騰、グローバル化やデジタル化の進展、世界的な要請でもあるカーボンニュートラルの実現など大きな変革期の中にあり、これらへの様々な対応が求められております。

私は、こうした状況に的確に対応しつつ、将来を見据え、魅力ある本県の素材「ポテンシャル」を最大限に生かしながら、地域に仕事や人の流れをつくり、住みやすい地域、将来にわたって活力ある社会を形成していくことが重要であると考えております。

特に、コロナ禍を経て、出生数の減少が予想を上回る速度で進行するとともに、様々な分野で人手不足が顕在化しており、人口減少社会の中で、どのように地域の活力維持と発展を図っていくかが大きな課題であると考えております。

まずは、県内経済の早期回復を図るとともに、人口減少社会の中で今後の鹿児島の発展の基盤をしっかりとつくっていく必要があります。

このため、国の施策とも連携して、燃料油や飼料の価格高騰に対する農水産物の生産者への支援、LPガス利用者や特別高圧受電事業者への支援、公定価格で運営を行っている医療機関や社会福祉施設への支援を行っております。また、保育所や県立学校等の給食費等への支援による子育て世帯の経済的負担の軽減などを行っております。これら各種の事業を効果的に展開することにより、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者の負担軽減に努めてきております。

その上で、基幹産業である農林水産業や観光関連産業の更なる振興に取り組むとともに、技術力の高い製造業や情報関連産業など新たな産業の創出にも取り組み、鹿児島の「稼ぐ力」の向上に取り組んでおります。

こうした「稼ぐ力」の向上を図るためには、各産業を支える人材の確保・育成が不可欠であります。人手不足が深刻化する中、各産業分野に

おける人材の確保・育成，労働生産性を高めるためのデジタル人材の確保，地域経済を支える貴重な人材としての外国人材の受入れのほか，移住・交流の促進等にも取り組んでおります。

また，本県の将来を支える人材の確保・育成に向けて，国の施策の方向性も踏まえつつ，市町村とも連携して，本県の実情を踏まえた子ども・子育て支援施策の充実・強化を図り，結婚，妊娠・出産，子育ての希望が叶う社会の実現に取り組んでおります。

さらに，持続可能な社会の実現に向けたデジタル化・カーボンニュートラルへの対応，高齢者が健やかで生きがいを持てる社会の形成，奄美・離島の振興，プロスポーツへの支援や文化の振興など，各般の施策を積極的に推進しております。

このほか，豪雨や台風災害，トカラ列島近海の地震活動や新燃岳の火山活動などの自然災害や，高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの家畜防疫などの危機事象に対して，迅速に取り組んでまいりました。

また，高規格道路や港湾・空港の整備など交通ネットワークの形成のほか，フェリー屋久島2の長期運休への対応，スポーツ・コンベンションセンターの整備などの県政の課題にも全力を挙げて取り組んでまいりました。

このたび，2期目就任1年を迎えるにあたり，マニフェストの進捗・取組状況をまとめました。

私は，引き続き，県民との対話を進めるとともに，現場の実態を把握した職員との政策論議を重ね，政策決定の透明化を図ることにより，県民の納得性を高め，市町村との連携強化にも取り組むなど，県民の皆様と一丸となって力強く県勢発展を推進してまいりたいと考えております。

今後とも，時代の変化に的確に対応しながら，県民の皆様にお示ししたマニフェスト等を踏まえ，「県民の皆様と一緒に鹿児島は今と未来をつくる」ということを基本として，「誠実に」，「着実に」県政の推進に取り組み，「誰もが安心して暮らし，活躍できる鹿児島」の実現に全力を尽くしてまいります。

引き続き，皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

令和7年8月1日

鹿児島県知事 塩田 康一